

平成 29 年度 国土交通省発表 特定本邦航空運送事業者(12 社)中 定時運航率 年間第 1 位を達成

2018 年 7 月 31 日

スカイマークは、平成30年(2018年)7月31日に国土交通省が発表した「航空輸送サービスに係る情報公開」のうち、「特定本邦航空運送事業者※に係る情報」において、平成29年度の定時運航率が93.06%となり特定本邦航空運送事業者12社中第1位となりました。定時運航率とは、全体の便数に占める出発予定時刻以降15分以内に出発した便数の割合です。

また、欠航率(運航予定便数に対する欠航便の割合)については0.59%となり、特定本邦航空運送事業者12社中、最も低くなりました。

これは、お客様をはじめとする関係者の皆さまの定時出発へのご理解とご協力のおかげと、心より御礼申し上げます。

これからも当社は、安全運航を最優先に安定した高い定時運航率の継続により、お客様の時間を大切にまいります。

※「特定本邦航空運送事業者」とは、客席数が100席または最大離陸重量が50トンを超える航空機を使用して行う航空運送事業を営む本邦航空事業者をいう。



定時運航率 1 位[※] (2017年度 国内航空会社中)

平素より定時運航にご協力いただき誠にありがとうございます。
これからも、お客様の時間を大切にまいります。

※国土交通省発表「航空輸送サービスに係る情報公開」の特定本邦航空運送事業者(12社)に係る情報において、2017年度の定時運航率(全体の便数に占める出発予定時刻以降15分以内に出発した便数の割合)が12社中1位